

- 1 開催日時 令和元年7月22日(月) 午後3時～午後4時
- 2 開催場所 長野商工会議所2階 会議室2、3
- 3 出席者 出席者5人、欠席委員1人、事務局職員3人
- 4 次第
 - 1 開会
 - 2 あいさつ
 - 3 協議事項
 - (1)ながのスマート通勤応援月間の取り組みについて 資料1, 2, 3
 - 4 その他
 - 5 閉会

議事概要

【3 協議事項】

- (1) ながのスマート通勤応援月間の取り組みについて
事務局から資料により説明。

[意見等]

A委員

資料1スライド4のパーク・アンド・ライド利用者の推薦とは。

⇒事務局

社会実験として実施するが、訪問企業の従業員で自動車通勤をしているが、公共交通への乗換が可能な方を推薦していただく。企業推薦者だけで足りない場合は、長野市南部地区交通渋滞対策協議会に地域住民で利用していただける方の推薦もしていただくなど、沢山の利用者を集めたい。利用者にアンケート実施する。

B委員

訪問する企業の目途はついているのか。

⇒事務局

商工会議所の協力をいただき、長野駅から1km程度の範囲で、従業員100人以上の企業30社を選定している。

C委員

定期代の支給の切り替えなどもあるので、早めに訪問しなければならないのではないかと。

⇒事務局

エコ通勤推進部会に説明したので、8月中に訪問して説明したい。

A委員

渋滞長調査と併せて、パーク・アンド・ライド駐車場の利用状況も調査したらどうか。期間中、利用しなかった日があれば、その理由についても聞いてみたらどうか。そして、今回は社会実験であるが、その後の設置についてはどう考えているのか。

⇒事務局

期間終了後直ちにパーク・アンド・ライド駐車場を正式に設置することは、現時点では考えていないが、利用者アンケートで今後も利用したいという意見が多数あれば、検

討することにはなる。

A委員

令和2年度もパーク・アンド・ライドは実施するのか。

⇒事務局

今年度の結果を見て検討すると思う。なお、店舗型のバスライドの設置は、常態化されると来客の駐車所として支障があるといわれており困難である。

A委員

パーク・アンド・ライドについては、時間や費用損失で利用したくないとの意見も出るかと思うので、安全に移動できる、歩いて健康になるなどの動機づけが出来ればと考えるので、先進地の事例も参考にしてみてもどうか。

C委員

パーク・アンド・ライドで公共交通に乗り換えることのマイナスのイメージを持たれても困る。

B委員

11月は雪の心配もある。

A委員

パーク・アンド・ライド利用者の推薦企業と、ピークシフト実施依頼企業は分けるのか。ピークシフト総量が分散されれば、自動車通勤でも良いのではとしないか。

⇒事務局

今回は、丹波島橋の渋滞緩和も目的であり、ピークシフトにより電車・バスの混雑も緩和され、利用促進にもつながるとの考えで、企業へ両方の取り組みを依頼するものである。

C委員

ピークシフトは長野駅周辺以外の企業へも協力依頼は出来そうだが。

⇒事務局

市内の企業へ事業の紹介、取り組みの通知をさせていただきたいと考えている。

A委員

ピークシフトは長野市に馴染むかどうか。

⇒事務局

働き方改革の中でも取り組んでいるところも多い。長野市役所でも試行を検討している。

B委員

出勤時間に関しては、労働基準監督署の見解もある。

C委員

訪問企業の、始業時間の把握はしているのか。また、D委員の団体では始業時間のデータはあるのか。

⇒事務局

訪問する企業の始業時間は、現時点では把握していない。

D委員

工場では時差出勤は難しい。公共交通の乗換には、公共交通の乗り方がわからないという課題もあるのではないかと。また、車でなければならぬ理由の掘り下げも、また、解消できるかが重要である。

B委員

バスロケーションの操作も難しい部分もある。確かにバスに乗りなれていないと、乗

り方も難しいところがある。

A委員

乗換の動機づけとして、乗り方を伝えるバス会社もある。

⇒事務局

今回の取り組みの中で、乗り方を伝えられる機会もあればと考える。

【4 その他】

特になし

※第3回部会は、令和2年2月頃開催を予定